



きたそらち

2026
10月号
No.307

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



本年も収穫の秋を迎え、8月27日から多度志地区と納内地区を皮切りに当JA管内各地で稲刈り作業がスタートしました！

→記事の詳細は3ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



JA HITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- 実りの秋！今年も新米の季節到来！ …… 2～3
- 旭山動物園に「ひまわりすいか」を寄贈 …… 6
- 青年部深川支部
JA若手職員との意見交換会を実施 …… 9
- JAきたそらち女性部
福祉施設へタオルを贈呈 …… 12

新米の季節到来！



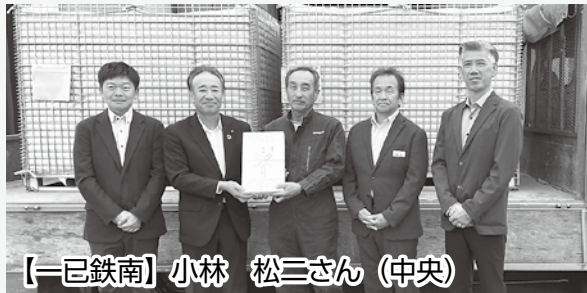
深川支所（多度志地区） 8月31日



【多度志南】 (株) ピースファーマーミング (中央)

令和8年度産米 各地区で初出荷

深川支所（一已地区） 9月1日



【一已鉄南】 小林 松二さん (中央)

深川支所（納内地区） 9月1日



【納内】 鮫澤 公秀さん (中央)

深川支所（メム地区） 9月2日



【メム北】 志土地泰次さん (中央)

北竜支所 9月3日



(うるち米)
【古作】 古作ライスセンター (左から2人目)
(もち米)
【西川】 藤井ファーム (左から4人目)
(酒米)
【板谷】 石井 隆さん (右端)

深川支所（音江地区） 9月7日



【音江中央】 (株) ファームマツウラ (中央)

幌加内支所 9月8日



(もち米)
【幌里】 横窪 敏明さん (中央)

幌加内支所 9月10日



(うるち米)
【南幌】 中川 祐哉さん (中央)

雨竜支所 9月13日



【東栄】 折出 雅弘さん (左から3人目)
折出 一貴さん (左から4人目)

令和8年度産の 稲刈り開始！

8月27日から深川市の多度志地区と納内地区を皮切りに、J A管内各地で令和8年度産米の収穫作業が始まった。北竜町で「ゆめぴりか」「ななつぼし」「おぼろぎ」を合わせて約66haに作付けしている農事組合法人豊竜農場の善岡龍哉さん（表紙写真）は、9月7日から2週間かけて刈り取り作業を行った。



同法人の善岡浩樹代表は「干ばつの被害が心配された時期もあったが、昨年より稲の丈や穂も長い。お米が安くなったため、消費者には安くておいしいお米を届けられるよう、沢山収穫していきたい」と話す。

当J A管内の今年の水稻作付面積は約10,200haとなっている。J A販売部職員は今年の生育について、「今年は茎数や出穂揃いも平年並みで、黄金色の稲穂が輝いている。生産者が1年間、大事に育ててきたお米をJ Aでしっかりと施設調整し、消費者の皆さまへお届けしたい」と話す。

【営農企画課 戸島】



TOPIC

9/8

食の大切さを学ぶ
保育園児がバケツで
育てた稲を収穫！

深川市内にある音江中央保育園と北光保育園で、保育園の子ども達がバケツで育てた稲の刈り取り体験を行った。この体験は、園児たちが食や農業への関心を深めるために行われ、5月下旬から園児自ら苗を植え、成長を見守ってきた。



この日両保育園の園児は、J A職員と一緒に鎌を持ち、育てた稲を真剣な表情で刈り取った。その後、稲を乾燥させるはさがけにも挑戦。J A職員が束ねた稲を一生懸命にねじっていた。

参加した園児からは、「楽しかった」「お米を食べるのが楽しみ」と収穫した稲を持ちながら笑顔で感想を話していた。

園児たちは、9月下旬に脱穀と粳摺り体験、10月中旬におにぎり作りを行う予定。

【営農企画課 戸島】



きたそらちレポート

7/21・8/24

食と農を学ぶ サツマイモ畑の除草作業

一已中学校3年生がサツマイモ畑の除草作業を行い、生徒たちは汗を流しながら作業に励んだ。

農業や食への理解を深めることを目的として、深川市の試験展示圃・体験圃場である「深川市農業センタ―」で6月上旬に苗の定植作業を行っていた。



7月21日にはA組26人、8月24日にはB組25人が参加。生徒たちは、日差しが射す晴天の中、手作業で除草作業を行った。

生徒からは「手作業で行う除草作業は大変だった」と作業の辛さを実感した声が多く上げられ、農業の苦労や食べ物の大切さについて学ぶ機会となった。

生徒たちは、秋に行う収穫に向け継続して生育を見守る予定。

【営農企画課 戸島】

8/19

北海学園大学生 JAきたそらちを視察 北空知農業への理解深める

北海学園大学の学生が、北空知の農業やJAの取り組み・役割について学ぶため当JAを訪れた。

午前中は、当JAの概要や農業情勢について説明を受けた後、広域小麦・大豆乾燥調製貯蔵施設や深川マイナリ、精米施設を見学。農産物が生産されてから消費者のもとへ届けられるまでの流れや、品質管理などについて理解を深めた。

学生からは「米価格の高騰が農家や消費者に与える影響」や「北海道米の中でも『ななつぼし』が選ばれる理由」など、現在の農業や米を取り巻く状況について多くの質問が寄せられ、身近な食を支える農業への関心の高さがうかがえた。



午後からは、元気村「夢の農村塾」に加入する生産者宅を訪問。農作業を体験したほか、稲わらを活用した加工品作りにも取り組んだ。また、生産者から農業の仕事内容や魅力、苦労などについて話を聞き農業への理解を深めた。

今回のJA施設見学や生産者との交流を通じて、普段の生活では触れる機会のない農業の現場を体感し北空知地域の基幹産業である農業への理解を深める貴重な一日となった。

【営農企画課 高桑】

8/22

音更町（株）ハピオ うりゅう米なつぼし 販売促進イベント開催



音更町の（株）ハピオで、うりゅう米「なつぼし」の販売促進イベントを実施した。

週末の開催となり、当日は開店直後から多くの来場者で賑わい、売り場前には行列ができるほどの人気ぶりを見せた。

結果、販売実績は5kg換算で320袋となり、うりゅう米すくい取りでも、計230kgのお米がすくい取られた。

地域におけるうりゅう米の認知と定着を改めて感じられるイベントとなった。今後も継続したPR活動を通じて、さらなる利用拡大を目指していく。

【雨竜支所 眞壁】



8/25~8/28

酪農学園大学農協実習 JAの役割と地域農業の 現場を体感



江別市の酪農学園大学3年生2人が、当JAにおいてJAの役割や地域農業の仕組みを学ぶことを目的とした農協実習を実施した。

業務実習では、北海道中央地域家畜市場（鷹栖町）で行われる家畜取引の仕組み、青果部選果場ではんにく選別、直売所e・c・i・rでは陳列・接客補助を体験。生産者から預かった農畜産物の販売に至るまで徹底した商品管理や販売努力などを学んだ。

農家実習では音江地区の渡邊滋典氏宅で花き作業を体験し、花が人の心を彩る

存在であることを教わった。

その他、選果場や精米施設など主要施設を視察し、農産物が選別・加工・保管される工程や厳重な品質管理について学んだ。

参加した学生は「さまざまな現場を実際に体験することで、JAが農業や地域の暮らしを支える重要な役割を担っていることへの理解が深まった」と話す。

今後も若い世代が「食と農の現場」に触れる機会づくりに取り組んでいく。



滝川西高校2年生 企業学習訪問の実施

滝川西高等学校2年生4人が当JAにおいて企業訪問学習を実施した。同校では、実社会における就業体験・探究活動を通し、望ましい職業観や勤労観を育成するために情報マネジメント科2年生を対象に実施している。

当JAの概要説明後、青果部選果場と精米施設において午前・午後それぞれ90分間の作業体験を行った。生徒は最初、緊張した面持ちで作業にあたっていたが、作業後には「普段できない体験ができて楽しかった」と笑顔で話した。



作業体験後の質疑応答では「JAは生産者と消費者をつなぐうえでどのような課題を抱え、それをどのようにに解決しているのか」「安心・安全に消費者へ農産物を届けるために、現場でどのような取り組みや努力が行われているのか」など質問を受けた。

今回の企業訪問学習は、JAの業務や食の安全を支える現場を知る貴重な機会となった。

【人事課 墓田】

ひまわりすいか組合 旭山動物園の動物たちに 「ひまわりすいか」を寄贈

当JAのひまわりすいか組合は旭山動物園（旭川市）に規格外の「ひまわりすいか」25玉を寄贈した。同組合による寄贈は昨年に続き2回目。フードロス削減および物価高騰による動物園側の餌代等の負担軽減、動物の暑さ対策などを目的として実施した。

この日は、同組合の高田秋光組合長と佐々木康宏北竜町長が同園を訪問し、中田真一園長へスイカを手渡した。寄贈したスイカのうち3玉はカバの餌として提供され、1玉を一瞬でかみ砕く様子が見られた。



中田園長は「普段は購入しないので、動物にとっては特別な餌。とても助かる」とお礼の言葉を述べた。高田組合長は「ひまわりすいかという、北竜町の三大作物になるひとつが動物園の役に立つことに嬉しく思う」と話した。

【青果課 藤川】

9/3・9/10

韓国農協の組合長らが 精米施設を視察

韓国各地域の組合長らが、当JA
精米施設の視察を行った。

今回の視察は、韓国農協中央会が
選抜した韓国各地域農協組合長らの
研修として、当JA精米施設で行っ
ている新精米方式「ミルコンボ」を
視察するために行われた。

当JA岩田清正組合長と佐藤一久
常務理事、販売部の職員が、訪れた
地域農協組合長計21人に当JAの概
要と精米施設について説明した。



説明後、各組合長から施設の建設
費用や、日本でのお米の消費量、管
内で作付けされているお米の品種な
ど、様々な質問が寄せられ、職員と
岩田組合長、佐藤常務が通訳を通し
て答えた。

視察をした海南農協のチャン・ス
ンヨン組合長は「今回の施設見学を
糧にして、自国でも品質向上に向け
努力していきたい」と話す。

【営農企画課 戸島】

9/5~9/6

お米の魅力を伝える2日間 ハピオ木野店で特価販売！ 販売促進イベントを開催

JA木野が運営するスーパーマー
ケットハピオ木野店（音更町）でお
米の販促イベントを開催した。

深川米「ふっくりんこ」とハピオ
限定販売の「ゆめぴりか」と「なな
つぼし」をブレンドした「羽飛雄」
を5日と6日に分けて販売。両日と
も、5kgをお買い上げいただいた来
場客に300gのお米を1袋プレゼ
ントする特別企画を行った。



店頭では、JA職員がお米の特徴
を説明し、JAきたそらち産米につ
いてPR。通常よりも特価で販売さ
れた商品を買いたい求め、笑顔で会場を
後にする来場客の姿が見られた。

結果、「羽飛雄」215袋、ふか
がわ米「ふっくりんこ」165袋を
販売した。

今後も、JAきたそらちのお米の
魅力を発信しPR活動を続けさらな
る販売拡大につなげていきたい。

【米穀課 佐々木】



第3回 JAきたそらち 地域農業応援団開催

第3回地域農業応援団が開催され、団員11人が参加した。今回は音江地区「アグリ工房まあぶ」でそば打ち体験、「アップルランド山の駅おとえ」でシールド工場見学などが行われた。

そば打ち体験では、深川産そば粉を使用。素人そば打ち段位認定制度の有段者である金融共済部の伊藤強部長よりそば打ちの手順を実演形式で学んだ後、「水まわし」「練り」「のし」「切り」の工程を団員二人一組で協力しながらそばを打った。昼食ではそばの実入りおむすびが入ったそばめし弁当と手打ちそばを堪能し、改めて手打ちそばの美味しさを実感していた。



昼食後は、金融共済部渉外課の上埜祐輝職員より「終活に向けた相続のいろいろ」と題し、ネガティブなイメージをもちやすい「終活」について「自分自身が生き生きと過ごすためにはいつ始めて良い」と前向きな生き方を考えるきっかけとなる講話を行った。

午後からはアップルランド山の駅おとえ内にあるシールド工場を見学した。シールドは品評会において金賞など受賞しているが、製造工程は手作業が多く、丁寧に作られていることに団員は驚いていた。

参加した団員は「手打ちそばとシールドは、どちらも丁寧な工程を経て美味しく出来上がることを知り、今回も良い経験ができた」と話す。

【人事課 墓田】



深川支所年金友の会

ゲートボール大会開催

菊水コミセンゲートボール場において、深川支所年金友の会のゲートボール大会が開催された。

開会式で、佐藤会長が「気温が高いので水分をとりながら体調管理に気をつけて、みんなで楽しみましょう」と挨拶した後、3チームに分かれて総当たりのリーグ戦により熱戦を繰り広げ、日頃の練習の成果を競った。



初心者が参加するチームもあったが、アドバイスを受けながら、リー

ダーを中心に激しい攻防を繰り広げた。残暑厳しい中、参加者たちは笑顔を輝かせ、ゲートボールを大いに楽しんでいる様子であった。

ゲーム終了後も、参加者たちは近況などを語り合いながら盛り上がり、有意義な時間を過ごした。

結果は左記の通り。(敬省略)

優勝	Bチーム (木谷義治 佐藤克之 中邑八重子 木谷松子)
準優勝	Aチーム (坪井洋子 酒井孝雄 五十川美恵子 坂口洋子)
3位	Cチーム (宮田智恵子 坂口三男 定岡里代子 岡田明)

【金融共済深川支所 山田】



第6回パークゴルフ大会
開催

音江年金友の会は、第6回パークゴルフ大会を開催した。

この日は、曇り空だったが、多少の風があり爽やかな好条件のもとでスタート。参加者の中には、日頃の鍛錬を発揮する者、数年ぶりにプレーする者などもあり、和やかな雰囲気の中、爽やかな汗を流した。



また大会終了後、音江支所大会議室へ場所を移し、参加者はボッチャも楽しんだ。

結果は左の通り。

- | | | |
|----|-------|-------|
| 1位 | 馬越 勝美 | 生野 恵子 |
| 2位 | 広瀬 三之 | 太田 博子 |
| 3位 | 菅原 隆 | 荒井ミキ子 |
| 4位 | 林 宏明 | 片岡 淑子 |

【金融共済音江支所 伊藤】

8/7

青年部深川支部

JA若手職員との
意見交換会を実施

JAきたそらち青年部深川支部が当JAの若手職員を対象とした「JAきたそらち若手職員と青年部深川支部との意見交換会を開催した。当日は、JA職員24人、青年部員24人の計48人が参加し、6グループに分かれて意見交換を行った。「青年部と若手職員の双方に対する思いや期待」「JAと農業者の双方が働きやすい環境づくり」などをテーマに、組合員との関係づくり、勤務環境などについて、率直な意見が交わされた。



同支部長の遠藤雅仁さんは「今回の参加者は歳が近いので、この会で親睦を深め、職員の皆さまには営農指導業務などに役立てていただきたい」と話す。

今回の意見を今後の青年部活動やJAとの関係づくりに生かし、農業者とJA職員がより身近に交流できる機会を継続して設けていきたい。

【深川支所 近江】

8/20

ホクレン岩見沢支所と 意見交換 小麦の話題中心に

J A空知青年部連合会が「ホクレン岩見沢支所との意見交換会」を空知農業会館（岩見沢市）で開き、空知管内の青年部盟友ら68人（うちJ Aきたそらち青年部4人）が参加した。

前段で行われた部長会議では、熊本地震の募金活動や第46回空知管内J A青年部大会の概要などを確認した。その後、スノーメッセージinそらち2026の審査結果が発表され、当J A青年部は「ユニーク賞」を受賞した。



ホクレン岩見沢支所との意見交換会では、小麦などをめぐる質問が相次いだ。中でも、「縞萎縮病に強い「きたほなみR」にはいつ頃切り替えるのか」との質問に同支所職員は「令和10年産から一般作付けを開始する」と説明した。

職員によると、「きたほなみR」への切り替えは2年間かけて行う方針で、初年度は全道の約1500haに配分する予定という。その上で「きたほなみ生産者には、作付けに慣れていたいただくためにも、「きたほなみR」を使ってほしい」と呼びかけていた。

【営農企画課 坪】

8/22

アプリパートナー2026 農業男子との 交流の場を提供

当J A主催の婚活イベント「アプリパートナー2026」を旭川市で開催した。同イベントは、農業後継者の男性と近郊女性とのマッチングを目的に行われている。この日は、当J A青年部員14人、近郊に在住の女性12人が参加し、交流会と懇親会を行った。

交流会では、同市ときわ市民ホールで、Cooking studio S u c r e 竹端さおりさんを講師に迎え、レモンマフィン作りを行った。材料には、J Aきたそらちで作付けしているお菓子用小麦「北見95号」を使用。会場では、男女が協力しながら生地をカップに流し入れ、お菓子を作り上げた。



交流会終了後、同市内の飲食店で懇親会を開催。1対1のトークを設け、自身の休日の過ごし方などが記載された、プロフィールカードをもとに会話を盛り上げている様子が見られた。その後はフリートークも設けられ、会話が途切れる様子はなく和気あいあいとした雰囲気が続いた。イベント終盤に行われたマッチング発表では、4組のペアが成立した。

当J Aでは今後も管内農業後継者の出会いの場を提供していく予定。

【営農企画課 戸島】

9/9

青年部雨竜支部

田んぼアートの稲刈りを実施

青年部雨竜支部は、同町立雨竜小学校の児童たちと「雨竜田んぼアート」の稲刈り作業を行った。

同支部は6月に同小学校の児童達と田植え作業を行い、今年の干支である馬をモチーフにしたデザインを田んぼに作り上げた。7月中旬頃に見頃を迎えた田んぼアートには、沢山の方が訪れ、圃場横においたアンケートボックスには多くのコメントが寄せられた。



この日は、青年部員11人とJA職員が馬のキャラクター部分を刈り取り、小学生11人は、同支部の藤田涼太郎支部長とJA職員から鎌の持ち方や稲の刈り方を教わった後、自分たちが植えた文字の部分を刈り取った。

藤田涼太郎支部長は「約1年間大変な部分はあったが、沢山の方が田んぼアートを見に来てくれてありがたい。子ども達もこの経験から農業に興味を抱いてくれればいいと思う」と話す。

【営農企画課 戸島】



女性部だより

8/23

笑顔いっぱい！「さくらマーケット」開催

今年で第5回目となるJAきたそらち女性部主催の「さくらマーケット」が当JA本所で開催された。当日は青空が広がる好天に恵まれ、会場には家族連れを中心とした地域住民などが次々と訪れた。

会場には、きゅうりやピーマンの詰め放題、お米すくいをはじめ、旬を迎えた新鮮な野菜が並んだほか、女性部員や地域の出店者による手芸品・加工品などが並んだ。



また、雨竜高等養護学校の生徒による陶芸品や苗の販売も行われ、生徒たちが来場者に一つひとつ真剣に商品を紹介する姿も見られた。

今回初めて行われた購入金額に応じて参加できるガラポン抽選会や、無料でわたあめを作れる子ども縁日なども好評で、子どもから大人まで楽しめるイベントとなり、人気の商品は早々に完売するなど会場は終始にぎわいを見せた。

多くの出店者の協力により開催された「さくらマーケット」は、大盛況のうちに終了。

JAきたそらち女性部は今後も地域とのつながりを大切にしながら親しまれる活動を続けていく。

【営農企画課 高桑】



JAきたそらち女性部

福祉施設へ タオルを 贈呈

JAきたそらち女性部（部長 高田聡子 部員数 298人）は、地域貢献の一環として平成16年から実施している「女性部タオル運動」を行った。

女性部員がタオルを持ち寄り各地域の高齢者施設や診療所、社会福祉協議会など9施設に計436本のタオルを寄贈した。

寄贈したタオルは、高齢者の入浴時に使われているほか、入浴が難しい方の身体を清潔に保つための清拭にも役立てられている。

また、施設館内の清掃にも用いられ日々の環境整備にも役立っている。

各施設からは「いつもありがとうございます。大変助かっています」と感謝の言葉が寄せられ、寄贈したタオルが日々の施設運営や高齢者の生活を支える一助となっている。

【営農企画課 高桑】

贈呈施設

- ・認知症対応型共同生活介護事業所 グループホーム忘れな草
- ・永福園 デイサービスセンター
- ・深川特別養護老人ホーム 清祥園
- ・老人ホーム こんにちは金さん銀さん
- ・特別養護老人ホーム 雨竜寿園
- ・認知症高齢者グループホーム 碧水
- ・社会福祉法人 北竜町社会福祉協議会
- ・特別養護老人ホーム 北竜町永楽園
- ・幌加内町立幌加内診療所



贈呈施設 認知症対応型共同生活介護事業所
グループホーム忘れな草



贈呈施設 永福園
デイサービスセンター



贈呈施設 深川特別養護老人ホーム
清祥園



贈呈施設 老人ホーム
こんにちは 金さん銀さん



贈呈施設 特別養護老人ホーム
雨竜寿園



贈呈施設 社会福祉法人
北竜町社会福祉協議会



贈呈施設 特別養護老人ホーム
北竜町永楽園



贈呈施設 認知症高齢者グループホーム
碧水



贈呈施設 幌加内町立幌加内診療所



JAきたそらち野球部

第64回全道JA野球大会へ出場

8/26

全道JA野球大会 準々決勝まで進むも敗退

JAきたそらち野球部は、野幌総合運動公園野球場で開催された「第64回全道JA野球大会」に出場した。同部は、6月に長沼町で行われた第67回空知管内JA野球大会で優勝し、空知管内の代表として同大会への出場権を得ていた。全道大会は各管内大会を勝ち上がってきた全14JA（うち1連合会）によるトーナメント制で行われた。

1試合目はJAみついしと対戦。初回から四死球や相手のエラーも絡み一気に2得点し、2回の攻撃でも、この試合4番打者をつとめた稲田（販売部畜産課）の内野安打や盗塁など、脚を生かしたプレーでの得点があった。その後も得点を重ね、6回には佐々木（販売部米穀課）、辻（深川支所営農課）の長打も出て8対1のスコールド勝ちとなった。守備では、佐々木が最後まで好投を見せ、失点も1本のホームランを許したのみとなり、守備のミスもほぼ無く初戦を勝ち切り、準々決勝へと駒を進めた。



準々決勝ではJAあさひかわと対戦。相手の好投・好守に阻まれなかなか得点できず、スコアボードに0が並べられていく。先発を務めた長場（販売部農産課）、リリーフの辻が力投したが、相手の長打や盗塁からの猛攻に耐え切れず4回までに0対13とされる。5回の攻撃では、それまでほぼ完璧に抑えられていた相手投手陣から、先頭打者である佐藤（金融経済部渉外課）の二塁打を皮切りに、伊藤（販売部農産課）の単打で一死1・3塁とすると、長場の内野安打の間に1点を返す。清水（金融経済部雨電支所）もレフト前へヒットを放ち反撃の兆しを見せたが、最後は併殺打となり2対13のスコールド負けとなった。

今年度の優勝はJA道央、準優勝はJA道東あさひとなった。役員をはじめ応援して頂いた皆様、熱いご声援をありがとうございました。

知っておきたい得する経営情報

第25回

北空知農業の未来に向けた経営の構造転換

はじめに

深川市をはじめとする1市5町の北空知エリアは、全道トップクラスの良質米をはじめ、そばや小麦、メロン、アスパラなどを生産する北海道有数の農業地帯です。しかし統計データの面から見ると、当エリアにおける人口減少と高齢化は非常に速いペースで進行しています。

今回は、生産年齢人口（15～64歳）の推移から北空知の現状を整理し、地域農業を維持・発展させるための取組を考えてみます。

1. データが示す北空知の人口減少と労働力不足

国立社会保障・人口問題研究所等の地域推計によると、北空知エリア全体（1市5町）の人口は2020年の約5万人から、2050年には約2万7千人へと4割以上減少する見込みです。

なかでも農業現場の労働力を直接担う「生産年齢人口」の減少はより顕著です。北空知では2050年までに生産年齢人口がほぼ半減すると見込まれ、次世代を支える若年層（15～39歳）に限り減少幅はさらに大きくなります。若者の札幌圏や本州への流出が続いており、農繁期の労働力確保は今後いっそう厳しくなることが予想されています。

2. 北空知農業が直面する課題

2020年農業センサスによれば、北空知は2700を超える農業経営体が存在する全道有数の農業集積地です。深川市では比較的若い担い手が多いものの、地域全体としては基幹的農業従事者の減少と高齢化が急ピッチで進んでいます。特に現場で強く感じる経営課題は以下の3点です。

① 水稻・畑作の規模拡大に伴う「設備投資負担」の増大…1戸あたりの耕地面積が広い北空知では、大型機械の更新には多額の資金が必要となり、経営を圧迫します。

② 後継者不在による離農と農地集積の限界…離農

した農地を近隣農家が引き受け規模拡大を図ってきましたが、各経営体の労働力や機械能力の限界に達しつつあります。

③ 資材・光熱費の高騰と収益の変動…生産資材価格が上昇する一方、収益が安定しづらく、所得の確保が難しくなっています。

地域の担い手が減ることとは、水路や農道の共同維持管理を困難にし、さらなる人口流出を招く悪循環につながります。

3. これからの北空知農業を生き抜く「5つの取組」

この厳しい局面を乗り越え、北空知の水田・畑作地帯を次の世代へ引き

継ぐため、今から取り組むべき5つの取組をご提案します。

①スマート農業の本格導入による大幅な省力化

大区画圃場が多い北空知はスマート農業と好相性です。自動操舵トラクターやドローン、水田の水利管理システムなどの導入は、作業効率を高め、高齢になっても作業を続けやすくするなど、省力化と負担軽減につながります。公的補助金を活用した計画的な設備投資がカギとなります。

②「複数戸法人」や既存法人への参加による経営の合理化

単なる個人経営の法人化ではなく、複数戸による法人設立（集落営農の組織化・法人化）や既存

農業法人への参加・集約も有効な選択肢です。高額機械の共同利用によるコスト削減、労力補完、適切な労務管理につながり、若い世代に対して「安定した雇用環境を備えた職場」としての魅力を高められます。

③新規就農・事業承継支援の強化

資金面のハードルを下げる支援や早期からの計画的な事業承継を進めることが、スムーズな世代交代の鍵となります。農業法人等への就業を通じて人材育成も効果的です。

④多様な人材の確保と柔軟な雇用体制

女性やシニア、副業・兼業人材の農繁期受入れなど、柔軟な雇用体制づくりが求められます。ま

た、「特定技能制度」を活用した外国人材の受け入れと定着支援を視野に入れる必要があります。

⑤「住みたくなる北空知」への地域ぐるみの投資

若者や移住者には、地域になるためには、子育て・教育環境の改善や生活インフラの確保が必要です。JAや行政、地域が連携し、北空知を「稼ぐ場所」と「安心して暮らせる場所」の両立を目指し、その魅力を発信することが重要です。

4. まとめにかえて

北空知の担い手不足や離農の進行は、単に一農家の問題ではなく、この地域の水田や畑、そして地域社会を維持しているかという極めて大きな

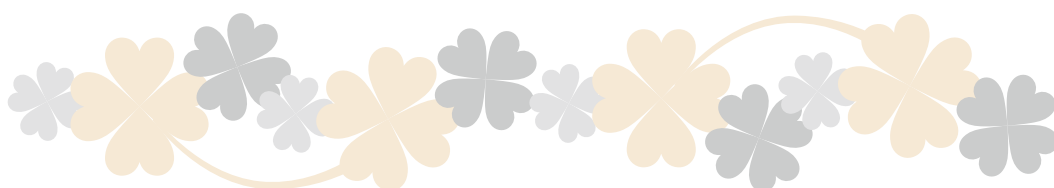
問題です。集約化や法人化、スマート農業による経営基盤の強化と、地域全体で担い手を育て、呼び込み、定着させる取組を一体的に進めることが重要です。北空知の豊かな農業を次の世代へ引き継ぐため、今こそ地域ぐるみで知恵を出し合い、将来を見据えた取組を進めていくことが大切です。



税理士法人
中央総合会計

「安心」が、私たちの商品です。

<http://www.csk-i.com>



農業振興部からのお知らせ

確認
OK?

最低賃金

働く人も、
雇う人も、
忘れずに。

最低賃金は、働くすべての人の時間額を保証する制度です。

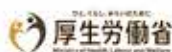
北海道 最低賃金

令和8年
10月1日
時間額

1,131 円

前年比
56UP 円

月給の人も日給の人も自分の時間額を計算してみよう



計算方法は裏面をチェック!

金融共済部からのお知らせ



JAの自動車共済にご加入・ご検討中の皆さまへ “お車の保障”は万全ですか？

JA共済のお車の保障には【全損害担保】と【車両損害限定特約】があります。

車両損害限定特約は車対車の事故や、盗難、自然災害（地震もしくは噴火またはこれらによる津波を除く）によるお車の損害を保障いたします。

なお、限定特約であるため、全損害担保と比較すると下図のように保障されない事故のケースがあります。

保障の範囲・主な事故例の比較

全 損 害 担 保

車両損害限定特約

1 相手自動車との衝突・接触事故 (相手車両等の確認が必要)^{※1)}

正面・側面衝突



追突



原付との衝突・接触



荷台からはみ出している積載物との接触



2 衝突・接触以外の事故

火災・爆発



いたずら・落着



盗難^{※2)}



窓ガラスの破損^{※3)}



台風・洪水・暴風・落雷等の自然災害^(地震・噴火・津波を除く)^{※4)}



物の飛来・落下^(飛び石含む)



左記 ① ② 以外の事故

電柱・ガードレール等に衝突



車庫入れに失敗



自転車との接触



墜落・転覆



あて逃げ(相手等不明)



※上記事故は一例です。

【※1】 相手自動車ならびにその運転者または所有者の氏名もしくは名称および住所の確認が必要となります。また、衝突または接触によって生じた損害は相手自動車の荷台から落ちてきた積載物に衝突したことによる損害、および相手自動車を避けようとしてガードレール等に衝突したことによる損害は含まれません。

【※2】 盗難については、種共済自動車ご二輪自動車、および原動機付自転車である場合は除きます。

【※3】 窓ガラス破損におけるフィルムアンテナ代も含みます。また、物の飛来・落下(飛び石)など他の事故原因による窓ガラス破損はその事故原因による損害として扱います。

【※4】 自然災害によって生じた損害には、雷、雹、暴風、砂じん等による道路の凍結、水ぬれ、ぬかるみ、道路不明、視界不良等のために生じた衝突・接触、墜落、転覆、破損による損害は含まれません。

共済金をお支払い
できない場合(主な例)

無免許運転・故意・飲酒・麻薬等の影響による異常運転 地震 噴火 津波
不正改造による事故 部品の欠陥やサビ タイヤの単独損害 戦争 内乱 暴動 その他

〇お問い合わせ先

JAきたそらち
共済センター TEL 0164-34-7151

伊予本部 TEL 0164-22-6619 多度支部 TEL 0164-27-2111
喜多支部 TEL 0164-25-1111 西条支部 TEL 0125-77-2331
深川支部 TEL 0164-22-2171 北条支部 TEL 0164-34-2280
松内支部 TEL 0164-24-2211 窪田支部 TEL 0165-35-2025

【26012102008】

※この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

定期貯金

金利優遇キャンペーン



キャンペーン期間

令和8年9月1日(火)

令和8年12月18日(金)

新規のお預入れ額 **10万円以上**

キャンペーン金利

3年もの
窓口で預入の場合
年 **0.85%**

- スーパー定期貯金
預入金額10万円以上1,000万円未満
(期間3年 自動継続)
- 大口定期貯金
預入金額1,000万円以上
(期間3年 自動継続)

キャンペーン金利

3年もの
JAネットバンク・ATM
から預入の場合
年 **1.00%**

- 対象は個人の方のみとなり、中途解約した場合は所定
の中途解約利率が適用されます。
- 期間後は自動継続となり、適用金利は継続日における、
店頭表示金利を適用いたします。
- 期間中であっても取扱い内容を変更または終了する場
合がございます。

©よりぞう

詳しくは下記窓口までお気軽にお問い合わせください

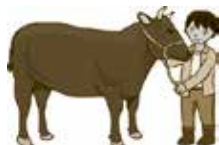
 **JAきたそらち**
<https://www.ja-kitasorachi.com>

◆イチャン本所 ◆音江支所 ◆深川支所 ◆納内支所
◆多度志支所 ◆雨竜支所 ◆北竜支所 ◆幌加内支所

開催日
8/5～8/6
市場成績

品種	性別	区分	市場全体		きたそらち農協	
			本年8月実績	前年同月実績	本年8月実績	前年同月実績
和牛	去勢	出場頭数	848	796	29	29
		平均価格	871,723	777,856	821,017	745,951
	めす	出場頭数	559	599	50	45
		平均価格	783,830	663,822	775,567	673,226
交雑	去勢	出場頭数	78	38	0	0
		平均価格	467,331	375,129	0	0
	めす	出場頭数	279	218	80	75
		平均価格	426,950	374,903	423,610	368,153

【平均価格は円・税込価格】



青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH_FUKAGAWA



URYU_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！

九月俳句

●雨竜俳句会

炎天下磨き終えたる車好き
主なき家を埋めおりハンゴン草
四姉妹旅は変わるや墓参り
スタートもゴールも見えぬ残暑かな
道端で燃ゆるカンナのお出迎え

北川 満江
佐々木 待子
松木 五月
宮武 めぐみ
吉見 サヨ子

●「道」俳句会 北竜支部

血が少し騒ぐ晩学桐一葉
音も無く動めく大地小の蛇
秋晴や近くて遠いとおい島
目の力確かめながら秋刀魚買う
閉店の秋桜ゆれて遠ざかる
風の秋絵馬に揺れいる願い事
青空に映える向日葵胸躍る

山本 玲子
山岸 正俊
吉尾 広子
山下 好晴
佐藤 美智子
阿部 れい子
南 秀幸

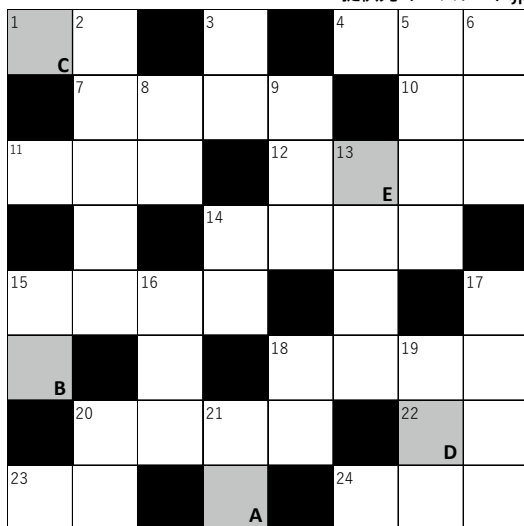
●土筆俳句会

雀来て吾をなぐさむ霜日和
秋夕焼両手を広げて染められし
秋日傘通院といふ決まり事
百日草開きしぼみてかく生きる
小さき手にポンポンシール盆来る
名に惹かれ恋空という林檎買う
老夫婦座るベンチに秋暑し
メロン食む孫が大好き竜の鈴
盆詣り若き美声の経響く
人消えた郷に広がる黄金の田

高尾 美津子
池田 美知
南川 富美子
佐藤 英三子
滝口 富美子
菅原 優子
森田 裕美子
沼田 留美子
山之内 信子
小橋 厚子

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



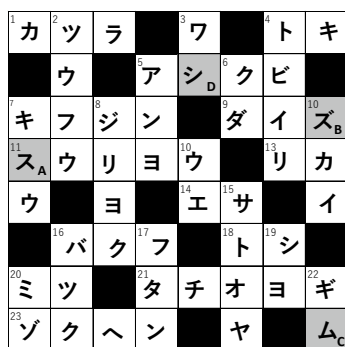
A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

【タテのカギ】

- 人に語る形式で書かれた散文学作品の総称。昔から語り継がれた話。
- 工業・土木建築などの専門的な技術を身に付け、それを職業にしている人。エンジニア。
- 物の長さを測る目盛りの付いた道具。
- 砂粒のようにになった金。
- 海や川が陸と接する境目。水ぎわ
- 自分以外の人。そのことに関係のない人。
- 糸を巻きつけること。糸を巻きつけるもの。
- 布や紙で作る、国の印やかざり、信号などを表すのに使うもの。
- 京都を代表する和菓子の一つ。お土産にも人気。○○橋。
- あの人たち。英語だと「They」
- 大きい事の程度。
- 魚類や水生哺乳類が遊泳するための器官。
- 養護・介護などの社会福祉事業を行うところ。
- 表面よりくぼんでいる部分。
- 稲・麦などの茎を乾かしたもの。麦○○帽子。

【ヨコのカギ】

- 冬に日本へ渡ってくる、公園の池や川辺に生息する水鳥。
- 重いと感じること。重い程度を数量で表したもの。
- 軒の下。
- 屋根の下端の、建物の外壁より外に張り出している部分。
- 日本で古くから作られてきた菓子。
- 若い男の人。自分の兄を親しみ込めて言う呼び名。
- 一年の半分。
- 物事を行う方法。しかた。
- 潮が引いて海水の水位が低くなり、海岸線が沖に退いていく現象。下げ潮。
- かくれたものが外に出てくると。
- のどが刺激を受けたときに起こる、短くて強い息。
- 相手の言うことを打ち消すときに使う言葉。
- 気温や温度が高くて暑いこと。



8月号の答え 「スズムシ」

深川市 安居 直己 様
北竜町 竹内 真澄 様
幌加内町 古屋 幹江 様
が選ばれました。

・・・ 応募締切 10月31日(消印有効) ・・・

応募方法

ハガキ・FAX・ホームページ応募フォームに、
①クイズの答え ②住所、氏名、年齢
③身近な出来事 ④農協だよりに対するご意見ご感想
を記入の上ご応募下さい。当選者は12月号に掲載します。

宛先

〒074-0015
深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
JAきたそらち 農業振興部営農企画課
FAXの場合は 0164-22-1228
ホームページはこちらのQRコードから



※ハガキで応募は、85円分のハガキ、切手をご使用ください。
ご本人以外による応募は抽選外とさせていただきます。

正解者の中から抽選で3名様に
「農協全国商品券」をプレゼント



組合員の動き

(令和8年8月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,136	7	36	1,107
	団体	120	4	0	124
准組合員	個人	5,217	43	47	5,213
	団体	248	4	1	251
正組合員戸数		801	3	20	784



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和8年8月実績

発電電力 **67,351kWh**

計画対比 +20,942kWh
前年対比 +13,625kWh

売電金額 **2,694,040円 (40円/kWh)**

○累計 (R7.12~R8.8)

発電電力 **423,288kWh** 計画対比 +98,104kWh / 前年対比 +53,466kWh



第9回理事会〈令和8年8月27日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. リース資産の取得について
6. 反社会的勢力等との取引状況について
7. マネー・ローンダリング等の取引状況について
8. コンプライアンス事故報告について
9. JA理事との利益相反取引実績について
10. 職員の人事及び業務事故について
11. JAカレッジ修学資金支援制度について
12. 貸出金の貸付報告について

13. 金融 相談・苦情等対応状況の定期報告について
14. 共済 相談・苦情等対応状況の定期報告について
15. 令和8年度 各種補助事業の採択結果について
16. 令和8年度 主要農作物の生育状況（8月15日）について
17. 令和6年度 うるち輸出用米最終精算について
18. 令和8年度 畜産物の販売実績（7月末）について
19. 令和8年度 青果・花き集荷販売実績について
20. 令和8年春肥料奨励金の支払について
21. 経済部事業実績について

- 議案第1号 北海道常例検査の検査結果及び改善・対応状況等報告について
- 議案第2号 組合員の出資金減口について
- 議案第3号 令和8年度 上半期決算について
- 議案第4号 リース資産の取得について
- 議案第5号 取引のリスク評価書について
- 議案第6号 寒冷地手当の支給について
- 議案第7号 貸出金の貸付について
- 議案第8号 クミカン貸越極度額の変更および理事に対する貸出承認について

- 議案第9号 令和8年産米 生産者概算金の設定について
- 議案第10号 令和8年産米 出荷奨励策について
- 議案第11号 令和8年産 玄そば・小豆・大豆の取扱いについて
- 議案第12号 系統外販売取引先の選定について
- 議案第13号 令和8年産 米（うるち・もち）集荷販売方針について



農業振興部からのお知らせ

第1回

ごはんってしあわせをつくるね

北海道米

おこめ・ごはん 川柳コンテスト

ごはんのある幸せ、北海道から。

「お米」「ごはん」「食事」「家族」「農業」など、
米にまつわる身近な出来事や思い出、楽しさ、大切さなどを
川柳(五・七・五)で表現してみませんか？
たくさんのご応募をお待ちしています！



募集内容

テーマ

お米・ごはん・食事・家族・
農業など、米にまつわる
川柳(五・七・五)

●応募資格

どなたでもご応募いただけます。(北海道内外問わず)

●部門

- ・一般部門
- ・子ども部門(中学生以下)

※部門は変更となる場合があります。

●応募方法

専用応募フォームからご応募ください。
(詳細は裏面またはJAきたそらちホームページをご覧ください)
応募作品数は一人3点までとします。



賞品

受賞者には

北海道米
(JAきたそらち産)
をプレゼント！

- 最優秀賞(1点) ▶ お米 1年分 [60kg]
- 優秀賞(5点) ▶ お米 半年分 [30kg]
- 入選(10点) ▶ お米 5kg
- 子ども部門(5点) ▶ お米 5kg

※商品はきたそらち産米(ゆめぴりか・ななつぼし・ふっくりんこ・きたくりん・えみまる)を予定



スケジュール

10月

募集開始

11月

募集締め切り

11月30日月

12月

審査
表彰・発表

SNS・広報でつながる！

コンテストの最新情報や
受賞作品はJAきたそらちの
SNSで発信します！



フォローして最新
情報をチェック！



@JA_KITASORACHI

応募の詳細・
応募フォームはこちら

■JAきたそらちホームページ

JAきたそらち おこめ川柳

またはQR
コードから
アクセス！



■郵送・FAX
の方はHPを
ご覧ください

ごはんを、もっと。産地を、ずっと。
おいしいごはんのある毎日が、産地の未来を支えます。

北海道
JAきたそらち

■お問い合わせ
農業振興部 TEL0164-26-0134